



こちら行橋教会に着任してから、ひと月が経過しました。何とか聖週間を終え、復活祭を無事に迎えることができました。皆さんのご協力に感謝します。引っ越し後の荷物の整理整頓もとりあえず終了。いよいよ今月から、幼稚園で園児たちに対する宗教講話を担当させていただきます。

さて、この一か月の間に、私なりに課題として感じた二つのことを分かち合わせていただきたいと思います。

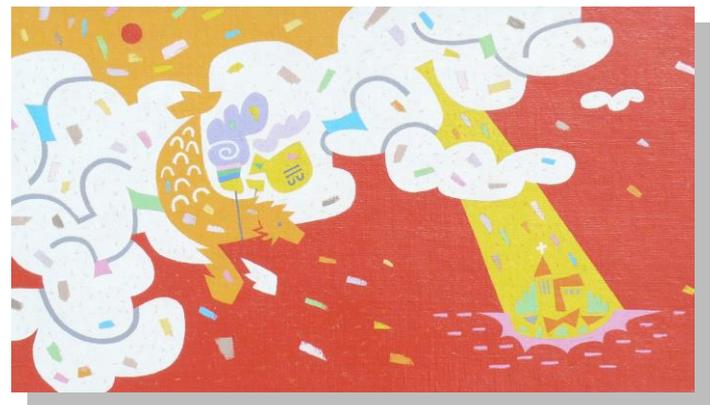
一つ目は、私たち行橋・豊津教会共同体としての活動理念について。

教会共同体は、単なる仲良しクラブでもなければ趣味サークルでもありません。福音宣教という明確な使命を有する組織・共同体ですから、ただ漫然と典礼や年中行事をこなしてゆけばよい、というものではありませんね。やはりそこには、一つの方向性～活動理念～があってしかるべきだと思います。

「いつくしみから踏み出す第一歩」「今日から始めよう私たちにできること」という理念・使命があるではないか、と思われ

る方もいらっしゃることでしょう。何だか難癖をつけるような気がして申し訳ないですが、「私たちの活動理念・使命として相応しいものか？」と疑問に思うのです。

「いつくしみから踏み出す第一歩」って具体的に何でしょうか？本当に活動理念になっていますか？理念ですから、ある程度抽象的なのは致し方ありませんが、あまりにも具体性・方向性が無すぎませんか？「今日から始めよう」って、これを来年・再来年まで続けてゆくなんで・・・変じゃないですか？改めて私たちの活動理念を作成し直す必要があると思うのですが、いかがでしょうか？



二つ目は、少子高齢化の問題。教会共同体は、少子高齢化については、一般世間よりも一歩も二歩も進んでいるのは確かです。「教会に来なさい・ミサに出なさい」と言っても、残念なことに、若者たちは来ませんね。

教会はレジャー施設ではありませんから、お楽しみ企画にも限度はあろうかとは思いますが、何か若者たちを集める工夫・企画を、少なくとも年に一・二度は、皆さんのご協力を得ながらトライしてみようと思っています。結果はどうであれ、とにかく何らかの種まきは続けていかなくてはならないでしょう。

